

中東地域 IT 商社支援ファンド 1号償還時運用報告

(第二種金融商品取引業協会「事業型ファンドの私募の取扱い等に関する規則」に基づくファンド報告書)

平素は格別のお引立てを賜り誠にありがとうございます。

標記ファンドの償還につきまして、以下のとおりご報告させていただきます。

出資金総額 : JPY 60,000,000.-
うち投資総金額 : JPY 57,480,000.-
うち運用手数料 : JPY 2,520,000.-

===運用開始時の状況===

グループ会社貸付実行日 : 2019年11月6日
グループ会社貸付金額 : USD 525,603.52
適用直物 USDJPY レート : 109.36
グループ会社貸付期間(当初予定) : 2019年11月6日から2021年5月25日
資金運用日数(当初予定) : 566日
グループ会社貸付金利(年利) : 12.8%

===運用終了時の状況===

グループ会社貸付期間 : 2019年11月6日から2022年10月12日
資金運用日数 : 1,071日
予定グループ会社返済利息額(累計) : USD 104,325.85
実現グループ会社返済利息額(累計) : USD 0.00
実現元利金返済額(累計) : USD 466,575.46
実現平均 USDJPY レート¹ : 134.73
実現 USDJPY レート(償還月)² : 146.04
出資者返済原資(累計) : USD 466,575.46
円貨換算出資者返済原資(累計) : JPY 62,860,974.-
ファンドの実現利回り(税引き前) : 1.8%(期間:2019年11月6日~2022年10月31日)

募集時表面利回り（税引き前）：9.0%（期間：2019年11月6日～2021年5月31日）

===分配金および償還金の概況===

分配金および償還金の有無：あり
 分配金および償還金の金額：62,860,974 円
 出資金1万円当たりの分配金および償還金の金額：10,477 円(実際の分配額は、端数処理の関係で左記の金額に出資金の額(1万円単位)を乗じた金額と差異が生じる場合がございます)

¹運用期間の累積円貨換算出資者返済原資（円貨基準）を、運用期間の累積実現元利金返済額（米ドル基準）で割ったレートを、本ファンドの実現平均 USDJPY レートとして記載しております。なお、上記の実現平均 USDJPY レートは本ファンドにのみ適用されるものです。

²償還月の直物 USDJPY レートを実現為替レートとして記載しています。

出資対象事業の概況

本ファンドは、本営業者がクラウドクレジット株式会社のエストニア子会社である Crowdcredit Estonia OÜ（以下「エストニアグループ会社」といいます）に対して貸付けを行いました。そのうえでエストニアグループ会社はこの借入金を原資として、アラブ首長国連邦を拠点に情報通信機器等の卸売事業を展開する事業者である Octagon International FZCO³（以下「Octagon 社」といいます）に対して貸付を行いました。

Octagon 社はアラブ首長国連邦（UAE）のドバイに本拠を置く、情報通信機器の専門商社です。ドバイのほかにも米国、英国およびオランダに流通拠点を持ち、世界各地のコールセンターや民間企業に向けて、情報通信機器を販売するだけでなく、ネットワークのセキュリティ強化等ソリューションの提供を行っています。

対象ファンドシリーズのこれまでの状況

時期	出来事
2021年5月期～7月期	エストニアグループ会社は Octagon 社より、「2021年5月期以降に順次返済期限の到来する各ローンについて、各返済期限における支払を経過利息のみとし、元本の返済を9か月ずつ繰り延べたい」旨の連絡を受けました。エストニアグループ会社は Octagon 社の要望を受入れ、元本の返済条件を別途協議することとして、2021年5月期、6月期および7月期に各ローンの経過利息を受取りました。 ⁴
2021年8月期～2022年2月期	エストニアグループ会社と Octagon 社は元本等返済の繰延期間・条件に

³ Octagon 社 web サイト <https://octagondistribution.com/>

⁴ 詳しくは2021年6月15日、2021年7月7日および2021年8月6日配信レポート「中東地域 IT 商社支援ファンド1号～5号 分配時報告」をご覧ください。

時期	出来事
	ついて協議を進めました。 ⁵
2022年3月期、4月期	エストニアグループ会社は Octagon 社との間で、Octagon 社が 1)2022年以降年2回以上返済を行うこと、2) 2025年5月に債務を完済すること、で合意しました。 その後 Octagon 社は債務の一部返済金としてエストニアグループ会社へ10万米ドル(2022年3月期)および20万米ドル(同年4月期)を送金しました。エストニアグループ会社はそれらの資金を受領したのち、すべて本営業者への返済に充当しました。 ⁶
2022年5月期～同年6月期	Octagon 社から貸付利率の引下げ要請がありました。エストニアグループ会社はその対案として2024年まで完済するよう返済期間を短縮することなども検討しましたが、2025年までの完済はそのままに貸付利率を引下げることが現実的だと判断してその内容で合意しました。ただし、Octagon 社の返済を確実にする目的で、同社がエストニアグループ会社へ返済予定日付の先付小切手を渡すことの合意を取付けました。 ⁷
2022年7月期～同年9月期(当月期)	Octagon 社からエストニアグループ会社へ、再度、返済条件見直しの相談が持ち掛けられました。Octagon 社はその相談結果を踏まえてエストニアグループ会社へ1,100,000.00米ドルを返済しました。本営業者はこれをもって本ファンドに関する回収の完了とし、本ファンドを償還します。回収完了と償還に至る背景については下記「2022年9月期における分配および償還について」をご覧ください。

2022年9月期における分配および償還について

当月期において、Octagon 社はエストニアグループ会社へ1,100,000.00米ドルを支払いました。これは本ファンドを含むシリーズ（中東地域 IT 支援ファンド1～5号）に属するもので、当社はこれをシリーズ各号へ適切に按分して分配を行います。なお当社は、本ファンドシリーズにかかる費用発生に備えてファンド財産から積み立てた23,036.67米ドルを加えた1,123,036.67米ドルを、当月期の本ファンドシリーズ分配原資として按分いたします。その分配をもって本ファンド財産の分配をすべて完了し、当社は本ファンドを償還いたします。

<最終合意までの経緯>

上記「対象ファンドシリーズのこれまでの状況」のうち2022年5月期～同年6月期の欄にあるとお

⁵ 詳しくは2021年9月14日配信「中東地域 IT 商社支援ファンド1号～5号 運用状況報告」をご覧ください。

⁶ 詳しくは2022年4月7日、2022年5月11日配信「中東地域 IT 商社支援ファンド1号～5号 分配時報告」をご覧ください。

⁷ 詳しくは2022年5月24日配信「中東地域 IT 商社支援ファンド1号～5号 契約期間延長(2回目)のお知らせ」をご覧ください。

り、エストニアグループ会社は Octagon 社と、一旦は Octagon 社が 2025 年までに債務を完済することで合意しました。しかし、2022 年 7 月期において、ロシア・ウクライナ紛争の影響、仮想通貨の下落等を背景に IT 機器やパソコン需要が回復しないことを理由に、Octagon 社より次の要請を受けました。

1. 2022 年 5 月期に合意したとおりのスケジュールで返済するが、将来の不測の事態に備えるために先付小切手の振出日を返済予定日より 1 年間後ろ倒しにしたい。
2. または、1,000,000.00 米ドルを 90 日以内に支払うことで残債務を免除してほしい。

これらの要請をもとに本営業者およびエストニアグループ会社は次のとおり検討を行いました。

もし 1 つ目の提案を受入れると、2025 年半ばまで分割返済が続き、完済までの間に Octagon 社の返済確度が悪化する可能性が少なからずあること。さらに、Octagon 社が返済を履行できない場合に先付小切手の振出等で回収を行うとしても、回収期間が長引く可能性が相応にあること。

それに対して 2 つ目の提案を受入れると、完済ではないもののある程度の金額を一括で回収できること。そして、ファンド資金回収の観点では足もとの円安を享受できる利点があること。

本営業者およびエストニアグループ会社は、上記の提案をいずれも拒絶する選択肢もあるものの、2025 年までに利率を再度引下げる等、条件を見直すことなく予定通りに債権を全額回収できる見込みは限定的だと考え、それよりも 2 つ目の提案を受入れて足もとの円安を享受することが投資家利益を最大化する観点では妥当だと判断いたしました。

なお、Octagon 社との交渉の結果、2 つ目の選択肢における返済の金額を 1,100,000.00 米ドルに引上げて合意しました。

<分配について>

本営業者は、上述のとおり、2022 年 9 月期に Octagon 社よりエストニアグループ会社を経て返済された 1,100,000.00 米ドルに加えて、本ファンドシリーズにかかる費用発生に備えてファンド財産から積み立てた 23,036.67 米ドルを加えた 1,123,036.67 米ドルを分配原資として、本ファンドシリーズの各号へ按分し、今回の分配を行います。

本ファンドの出資金は、金融商品取引業等に関する内閣府令第 125 条その他の法令に定める基準に則り、ファンドの種類別・号数別に銀行に開設する預金口座へ預金する方法によって、本営業者の固有財産その他本営業者の行う他の事業に係る財産とは分別して管理を行いました。

今後とも当社の事業にご理解とご支援を賜れますと幸いです。

会社概要（クラウドクレジット・ファンディング合同会社）

【代表社員】 クラウドクレジット株式会社

【設立年月】 2016年3月

【資本金】 1,000,000円

【住所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目8番1号

クラウドクレジット・ファンディング合同会社、エストニアグループ会社（Crowdcredit Estonia OÜ）およびクラウドクレジット株式会社（連結ベース）の主な経営・財務指標は以下のとおりです。

	資本金	総資産	総負債	純資産	売上高	営業損益	経常損益	当期純損益
クラウドクレジット・ファンディング合同会社 (2021年12月末現在・単位：千円)	1,000	13,924,060	13,939,753	△ 15,692	1,749,015	60	617	547
Crowdcredit Estonia OÜ (2021年12月末現在・単位：ユーロ)	5,000	108,182,360	107,524,536	657,824	12,663,766	2,194	△ 17,708	△ 17,708
クラウドクレジット株式会社(連結ベース) (2021年12月末現在・単位：千円)	50,000	16,899,282	16,336,670	562,612	1,926,201	△ 418,142	△ 413,478	△ 415,833

※会計期間(2021年1月1日から2021年12月31日まで)の金額を記載しております。